

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <http://www.takara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柿本 敏男

問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 掛見 卓也

TEL 075-241-5124

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第2四半期 | 107,509 | 0.5 | 5,207 | 34.2 | 5,614 | 29.8 | 3,177 | 25.8 |
| 28年3月期第2四半期 | 106,934 | 5.7 | 3,880 | 18.5 | 4,326 | 26.2 | 2,525 | 38.1 |

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △6,296百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 1,413百万円 (18.1%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第2四半期 | 15.79 | — |
| 28年3月期第2四半期 | 12.55 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年3月期第2四半期 | 241,556 | 147,345 | 50.9 |
| 28年3月期 | 253,253 | 156,148 | 51.5 |

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 122,882百万円 28年3月期 130,386百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | — | — | 12.00 | 12.00 |
| 29年3月期 | — | — | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | — | — | 12.00 | 12.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 11円00銭 記念配当 1円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|-----|--------|-----|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 234,100 | 3.9 | 12,600 | 7.9 | 13,300 | 3.6 | 8,200 | 16.2 | 40.75 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|---------------|----------|---------------|
| 29年3月期2Q | 217,699,743 株 | 28年3月期 | 217,699,743 株 |
| 29年3月期2Q | 16,475,499 株 | 28年3月期 | 16,475,391 株 |
| 29年3月期2Q | 201,224,317 株 | 28年3月期2Q | 201,225,317 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 4 |
| (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| (2) 追加情報 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報) | 10 |

○ 第2四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかな回復基調にあるものの個人消費は力強さに欠ける状況が続いております。

一方、海外においては、米国では景気回復基調が続いておりますが、新興国経済の景気下振れリスクや英国のEU離脱問題などもあり、世界景気は依然として先行きが不透明な状況です。

このような経済状況のもと、当社グループは、長期経営ビジョン「宝グループ・ビジョン2020」の達成に向けた第2ステップとしての「宝グループ中期経営計画2016」の最終年度をむかえ、引き続き国内では収益力の向上、海外では事業の拡大・伸長に取り組むとともに、バイオ事業の成長加速により、環境変化に強いバランスのとれた事業構造に変革していくことを目指し、着実な事業活動に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高107,509百万円（前年同期比100.5%）、売上総利益43,435百万円（前年同期比104.3%）、営業利益5,207百万円（前年同期比134.2%）、経常利益5,614百万円（前年同期比129.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,177百万円（前年同期比125.8%）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

[宝酒造グループ]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、酒類では、焼酎および清酒は減少いたしましたでしたが、ソフトアルコール飲料は、引き続き“タカラ「焼酎ハイボール」”が好調に推移しましたので増加いたしました。

その他酒類でもウイスキーが増加しましたので、酒類全体の売上高は増加いたしました。

調味料はみりんや料理清酒の好調により増加しましたが、原料用アルコール等や物流は減少いたしました。

海外日本食材卸では、FOODEX S.A.S.（仏国）、COMINPORT DISTRIBUCIÓN S.L.（スペイン）、TAZAKI FOODS LTD.（英国）がいずれも増加いたしました。

以上の結果、宝酒造グループ全体の売上高は、92,489百万円（前年同期比100.7%）となりました。売上原価は、58,188百万円（前年同期比99.4%）となりましたので、売上総利益は、34,301百万円（前年同期比102.9%）となりました。販売費及び一般管理費は、販売促進費や運送費などの増加により30,746百万円（前年同期比101.1%）となりましたので、営業利益は、3,554百万円（前年同期比121.8%）となりました。

[タカラバイオグループ]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、海外における現地通貨ベースでは増収となりましたが円高の影響が大きく、13,199百万円（前年同期比99.6%）となりました。売上原価は、品目別の売上構成の変化等により原価率が低下し、5,152百万円（前年同期比87.3%）となりましたので、売上総利益は、8,046百万円（前年同期比109.4%）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費が減少したもののWaferGen Bio-systems, Inc.の株式取得関連費用が発生したことにより、ほぼ前年同期並みの6,669百万円（前年同期比100.0%）となりましたので、営業利益は、1,377百万円（前年同期比201.2%）となりました。

[宝ヘルスケア]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、化粧品OEMが減少したことなどにより、913百万円（前年同期比95.6%）となりました。売上原価は、370百万円（前年同期比78.4%）となりましたので、売上総利益は、543百万円（前年同期比112.4%）となりました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝費や管理費などの増加により540百万円（前年同期比120.5%）となりましたので、営業利益は、3百万円（前年同期比9.0%）となりました。

[その他]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,804百万円（前年同期比103.7%）、売上原価は、2,426百万円（前年同期比101.7%）となりましたので、売上総利益は、377百万円（前年同期比118.9%）となりました。販売費及び一般管理費は、330百万円（前年同期比98.1%）となりましたので、営業利益は47百万円（前年同期は19百万円の営業損失）となりました。

品種別販売実績

| セグメントの名称 | | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 前年同期比 |
|------------------------------------|------------|---|---|-------|
| | 品種 | 金額(百万円) | 金額(百万円) | (%) |
| 宝酒造グループ | | | | |
| | 焼酎 | 29,707 | 28,374 | 95.5 |
| | 清酒 | 9,817 | 9,671 | 98.5 |
| | ソフトアルコール飲料 | 14,246 | 15,651 | 109.9 |
| | その他酒類 | 6,712 | 6,929 | 103.2 |
| | 酒類計 | 60,484 | 60,627 | 100.2 |
| | 本みりん | 7,073 | 7,093 | 100.3 |
| | その他調味料 | 4,358 | 4,639 | 106.4 |
| | 調味料計 | 11,432 | 11,732 | 102.6 |
| | 原料用アルコール等 | 3,494 | 3,460 | 99.0 |
| | 物流 | 5,953 | 5,242 | 88.0 |
| | 海外日本食材卸 | 9,796 | 10,768 | 109.9 |
| | その他 | 711 | 658 | 92.5 |
| | 計 | 91,872 | 92,489 | 100.7 |
| タカラバイオグループ | | 13,257 | 13,199 | 99.6 |
| 宝ヘルスケア | | 955 | 913 | 95.6 |
| その他 | | 2,703 | 2,804 | 103.7 |
| 事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去 | | △1,855 | △1,897 | — |
| 合計 | | 106,934 | 107,509 | 100.5 |

(注) 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11,696百万円減少し、241,556百万円となりました。このうち、流動資産は前連結会計年度末に比べ8,751百万円減少し、150,322百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,207百万円、有価証券が9,319百万円それぞれ減少し、現金及び預金が1,882百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ2,945百万円減少し、91,234百万円となりました。これは主に、有形固定資産が1,517百万円、無形固定資産が1,728百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,893百万円減少し、94,210百万円となりました。このうち流動負債は前連結会計年度末に比べ7,184百万円増加し、54,832百万円となりました。これは主に、1年内償還予定の社債が10,000百万円増加し、支払手形及び買掛金が719百万円、未払費用が907百万円、未払法人税等が746百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ10,077百万円減少し、39,378百万円となりました。これは主に、社債が流動負債への振替により10,000百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ8,803百万円減少し、147,345百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が8,301百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益5,575百万円、減価償却費2,492百万円、たな卸資産の増加1,445百万円、法人税等の支払額3,147百万円などにより、2,343百万円の収入となり、前年同期と比べて3,251百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却及び償還による収入14,765百万円、定期預金の払戻による収入4,263百万円、有価証券の取得による支出9,387百万円、定期預金の預入による支出3,777百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出2,518百万円などにより、3,088百万円の収入となり、前年同期と比べて8,765百万円の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額2,410百万円などにより、2,625百万円の支出となり、社債の償還による支出5,000百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出2,022百万円などがあった前年同期と比べて6,441百万円の支出減少となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額の減少2,436百万円を含めた当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より369百万円増加し32,905百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績及び直近の状況を踏まえ、平成28年5月9日に公表いたしました業績予想を修正しております。

為替レートは当初の想定レートより円高に見直しましたが、国内酒類事業が好調に推移しており、第4四半期より新たに連結対象となる予定のMutual Trading Co., Inc. の業績も加味し、売上高、利益ともに上方修正しております。

なお、新たに連結対象となる予定のMutual Trading Co., Inc. に関しましては、本日(平成28年11月10日)公表しております「当社子会社(宝酒造株式会社)によるMutual Trading Co., Inc. の第三者割当増資引受に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 38,386 | 40,268 |
| 受取手形及び売掛金 | 53,602 | 52,394 |
| 有価証券 | 28,238 | 18,919 |
| 商品及び製品 | 29,739 | 28,683 |
| 仕掛品 | 1,077 | 1,501 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,401 | 3,091 |
| その他 | 4,859 | 5,660 |
| 貸倒引当金 | △231 | △196 |
| 流動資産合計 | 159,073 | 150,322 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 53,065 | 51,547 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 6,975 | 5,964 |
| その他 | 4,035 | 3,317 |
| 無形固定資産合計 | 11,010 | 9,281 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 24,747 | 25,176 |
| その他 | 5,468 | 5,320 |
| 貸倒引当金 | △112 | △92 |
| 投資その他の資産合計 | 30,103 | 30,405 |
| 固定資産合計 | 94,179 | 91,234 |
| 資産合計 | 253,253 | 241,556 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 15,201 | 14,481 |
| 短期借入金 | 4,994 | 4,697 |
| 1年内償還予定の社債 | — | 10,000 |
| 未払酒税 | 7,855 | 7,442 |
| 未払費用 | 4,965 | 4,058 |
| 未払法人税等 | 2,307 | 1,561 |
| 賞与引当金 | 2,235 | 2,576 |
| その他の引当金 | 1,954 | 2,025 |
| その他 | 8,133 | 7,988 |
| 流動負債合計 | 47,648 | 54,832 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 20,000 | 10,000 |
| 長期借入金 | 10,255 | 10,235 |
| 退職給付に係る負債 | 8,544 | 8,627 |
| 長期預り金 | 5,379 | 5,349 |
| その他 | 5,277 | 5,165 |
| 固定負債合計 | 49,456 | 39,378 |
| 負債合計 | 97,104 | 94,210 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 13,226 | 13,226 |
| 資本剰余金 | 1,879 | 1,879 |
| 利益剰余金 | 113,663 | 114,426 |
| 自己株式 | △9,938 | △9,938 |
| 株主資本合計 | 118,830 | 119,593 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,822 | 7,339 |
| 繰延ヘッジ損益 | △445 | △918 |
| 為替換算調整勘定 | 5,548 | △2,752 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △370 | △378 |
| その他の包括利益累計額合計 | 11,555 | 3,289 |
| 非支配株主持分 | 25,762 | 24,463 |
| 純資産合計 | 156,148 | 147,345 |
| 負債純資産合計 | 253,253 | 241,556 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 106,934 | 107,509 |
| 売上原価 | 65,302 | 64,073 |
| 売上総利益 | 41,632 | 43,435 |
| 販売費及び一般管理費 | 37,751 | 38,228 |
| 営業利益 | 3,880 | 5,207 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 248 | 266 |
| 持分法による投資利益 | 123 | 163 |
| その他 | 387 | 300 |
| 営業外収益合計 | 759 | 731 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 225 | 213 |
| その他 | 87 | 110 |
| 営業外費用合計 | 312 | 324 |
| 経常利益 | 4,326 | 5,614 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 11 | 20 |
| その他 | 260 | 0 |
| 特別利益合計 | 271 | 21 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 50 | 42 |
| 投資有価証券評価損 | 23 | 15 |
| その他 | — | 2 |
| 特別損失合計 | 73 | 60 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,525 | 5,575 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,117 | 2,321 |
| 法人税等調整額 | △298 | △239 |
| 法人税等合計 | 1,819 | 2,082 |
| 四半期純利益 | 2,705 | 3,492 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 180 | 315 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,525 | 3,177 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 2,705 | 3,492 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,116 | 516 |
| 繰延ヘッジ損益 | △316 | △477 |
| 為替換算調整勘定 | 128 | △9,375 |
| 退職給付に係る調整額 | △37 | △1 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 50 | △450 |
| その他の包括利益合計 | △1,292 | △9,788 |
| 四半期包括利益 | 1,413 | △6,296 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,159 | △5,088 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 253 | △1,207 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) |
|----------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,525 | 5,575 |
| 減価償却費 | 2,494 | 2,492 |
| 受取利息及び受取配当金 | △386 | △364 |
| 支払利息 | 225 | 213 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 854 | 108 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △1,747 | △1,445 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △528 | △221 |
| 未払酒税の増減額 (△は減少) | △185 | △410 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △1,896 | 278 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | △1,140 | △778 |
| その他 | △458 | △143 |
| 小計 | 1,755 | 5,304 |
| 利息及び配当金の受取額 | 425 | 399 |
| 利息の支払額 | △234 | △212 |
| 法人税等の支払額 | △2,854 | △3,147 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △908 | 2,343 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △3,475 | △3,777 |
| 定期預金の払戻による収入 | 6,370 | 4,263 |
| 有価証券の取得による支出 | △10,053 | △9,387 |
| 有価証券の売却及び償還による収入 | 5,112 | 14,765 |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △3,236 | △2,518 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △309 |
| その他 | △394 | 52 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △5,677 | 3,088 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 社債の償還による支出 | △5,000 | — |
| 配当金の支払額 | △2,011 | △2,410 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | △2,022 | — |
| その他 | △33 | △215 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △9,067 | △2,625 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 103 | △2,436 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △15,549 | 369 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 42,749 | 32,536 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 27,199 | 32,905 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-------------|--------------------|------------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 宝酒造 グループ | タカラバ イオグル ープ | 宝ヘルス ケア | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 91,741 | 12,811 | 954 | 105,507 | 1,196 | 106,704 | 230 | 106,934 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 131 | 446 | 1 | 578 | 1,507 | 2,086 | △2,086 | — |
| 計 | 91,872 | 13,257 | 955 | 106,086 | 2,703 | 108,790 | △1,855 | 106,934 |
| セグメント利益又は損 失(△) | 2,918 | 684 | 35 | 3,638 | △19 | 3,619 | 260 | 3,880 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業などの機能会社グループであります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した不動産賃貸収益などであります。

(2) セグメント利益又は損失(△)は、セグメント間取引消去37百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益223百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-------------|--------------------|------------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 宝酒造 グループ | タカラバ イオグル ープ | 宝ヘルス ケア | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 92,370 | 12,769 | 912 | 106,052 | 1,224 | 107,276 | 232 | 107,509 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 118 | 429 | 1 | 549 | 1,579 | 2,129 | △2,129 | — |
| 計 | 92,489 | 13,199 | 913 | 106,602 | 2,804 | 109,406 | △1,897 | 107,509 |
| セグメント利益 | 3,554 | 1,377 | 3 | 4,934 | 47 | 4,981 | 225 | 5,207 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業などの機能会社グループであります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した不動産賃貸収益などであります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去49百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益175百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。